



THIS IS MECENAT
2026

対 象

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2026年4月1日から
2027年3月31日の間に実施する、メセナ(芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり)活動

ジャンル

音楽 舞踊 文化遺跡
美術 文学 歴史的建造物
工芸 伝統芸能 ファッション
映画 民俗芸能 ものづくり
映像メディア 建築
演劇 複合芸術 など

形 態

公演や展覧会、アウトリーチやワーク
ショップ等各種文化プログラムの開
催／人的・物的支援、ノウハウや場所
の提供、資金支援／人材育成や顕彰・
コンクール事業の実施／文化施設等
での企画・運営／出版物の発行 など

活 動 例

地域の文化を守り育てる活動／市民が芸術
文化を楽しむ機会の提供／芸術文化団体へ
の資金提供／芸術文化団体との協働 など

※営利を主たる目的とした活動、宗教活動や政治団体の
普及を主たる目的とした活動、企業と連携していない
一般社団法人・公益社団法人・特定非営利活動法人が
独自で行う活動は対象となりません。

審 査

3つの視点(活動の位置づけ、活動の主体性、活動の視野)を中心に、
社会・地域への思いや創意工夫を凝らした点などを含めて総合的に審査

○審査委員

山梨 絵美子 | 千葉市美術館 館長／日本博物館協会 会長 ※委員長
大島 まり | 東京大学大学院情報学環・生産技術研究所 教授
永山 祐子 | 建築家
八反田 弘 | 東京藝術大学 名誉教授
松尾 卓哉 | 株式会社17 クリエイティブディレクター／CMプランナー／コピーライター
夏坂 真澄 | 企業メセナ協議会 理事長 (五十音順・敬称略、肩書は2026年3月時点)

手数料

審査会にて認定された活動1件につき **33,000円** (税込)
企業メセナ協議会会員は無料
※審査結果通知後、お支払いいただきます。

スケジュール



This is MECENAT 2025の認定活動が、メセナアワード2026の対象となります。

受 付

This is MECENAT 専用サイト内の応募フォームにて受け付けています。

3月16日(月)～5月15日(金) 24:00 まで

詳しくはウェブサイトをご覧ください▶ <https://mecenat-mark.org/> または

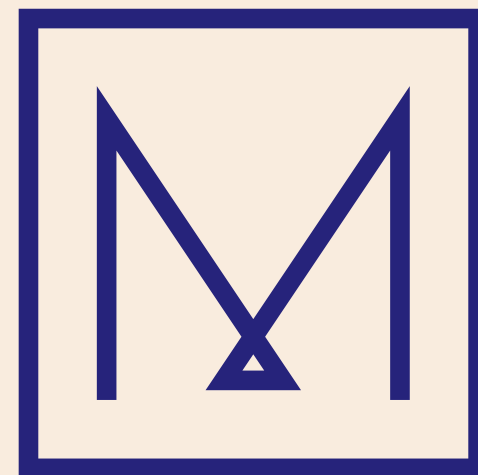


お問い合わせ： 公益社団法人企業メセナ協議会 This is MECENAT 担当
Tel：03-5439-4520 E-mail：mecenat@mecenat.or.jp

公益社団法人企業メセナ協議会とは

企業による芸術文化支援(メセナ)活動の活性化を目的に1990年に設立された、日本で唯一のメセナ専門の中間支援機関です。
企業メセナの社会的意義を発信し、文化振興の基盤を整備するために、調査研究、認定顕彰、助成、国際交流等の事業を多面的に行っています。

メセナとは、芸術文化を通じた
心豊かなより良い社会づくりのための活動です。
企業メセナ協議会は、企業が行うメセナ活動を促進します。



THIS IS MECENAT 2026

This is MECENATは、
メセナ活動を認定することにより、
各活動に光をあて、全国各地の多彩な
メセナ活動を応援する制度です。

メセナ活動認定制度、募集開始

受付
期間

2026 **3.16** (月) — **5.15** (金)

対象

全国各地の企業や企業財団が実施するメセナ活動

主催

公益社団法人 企業メセナ協議会

後援

文化庁

企業が主体的に取り組むメセナ活動を募集します。

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動を有識者の審査により認定する制度です。全国各地で多様に展開されている企業メセナを広く周知するため、「これぞメセナ」と認定された活動には、シンボルとして「メセナマーク」を発行し、This is MECENAT 専用サイトに掲載するなど広報発信に協力します。

さらに認定された翌年には、特に優れた活動を「メセナアワード」として表彰します。

芸術文化支援をはじめ、教育、地域、福祉、環境などにおける社会課題の解決に向けて、活動領域も広がっている企業メセナ。2014年に開始し、のべ1,800件以上の活動を登録してきました。今後も当制度を通して、さらなる光をあててまいります。ぜひご応募・ご推薦ください。

「This is MECENAT」に認定されると…

01

メセナマークを発行

メセナマークはさまざまな分野の専門家から認定を受けた、芸術文化による社会貢献の証として、活動の公益性や信頼性を高めています。認定年度に発行し、活動に関する広報媒体で（ウェブサイト、チラシ、プログラム、サステナビリティレポートなど）広くご活用いただけます。

This is MECENAT 専用サイトではマークの活用例を紹介しています。また、ご希望の方には認定書も発行しています。社内外の周知・発信にぜひご利用ください。

02

広報発信への協力

認定活動はすべてThis is MECENAT専用サイトに活動内容を掲載するほか、メセナ活動イベントカレンダー「アート&カルチャー」、各種SNS、メールマガジンなどを通じて広報協力をします。

This is MECENATの審査結果やメセナアワード贈呈式などのプレスリリースも配信。全国紙、地方紙、業界紙、ネットニュースなどに掲載されています。

■ 主要掲載メディア

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経ニュース、北海道新聞、富山新聞、信濃毎日新聞、茨城新聞、山陽新聞、徳島新聞、西日本新聞、沖縄タイムス、保険毎日新聞、日刊建設工業新聞、日本食糧新聞、燃料油脂新聞、東洋経済オンライン、美術の窓 など

03

メセナアワード

毎年、前年度に認定された活動から特に優れた活動を選考。メセナ大賞、および優秀賞の受賞活動には、表彰状と新進アーティスト制作のトロフィーを贈呈します。 [1991年創設]

認定企業の声

株式会社アイワード



▲ 情報誌の表紙にメセナマークを掲載しています。

株式会社 OPA



▲ プレスリリースやギャラリー内のパネルなどにメセナマークを使用しています。

北海道の印刷出版 文化情報誌「季刊アイワード」の発行

印刷会社ならではの社会貢献として、本社がある北海道の大地で長く活動されている団体に光をあてる特集、本に関係するシリーズ企画、社員による新刊本紹介を柱に情報誌「季刊アイワード」を発行しております。

第三者機関からメセナ活動の認定をいただき、表紙に「メセナマーク」を掲載することで信頼性が高まり、取材ご協力も含め多くの方との接点をもたす要素となっています。

アート de みらいギャラリー ～誰もが利用でき、誰もが表現できる～

障がいの有無を問わず「誰もが表現できる」場として新百合丘オーバに開設しました。地域のパラアート展示を中心に、大学やスポーツチーム等との連携を通じ「地域のハブ」として活動を広げています。

本認定は活動の公共性を裏付け、各機関との信頼構築に繋がっています。今後も多様な才能と地域を繋ぎ、持続可能なまちづくりに貢献します。

「This is MECENAT 2025」認定活動例



株式会社朝日新聞社

合唱プロジェクト
「どこからか言葉が」

東京都

多くの詩が合唱曲になっている詩人の故・谷川俊太郎氏の世界を楽しむ合唱プロジェクト。同氏が朝日新聞の連載「どこからか言葉が」で発表し続けてきた新作の中から人気作曲家6名がそれぞれ一つを選んで作曲し、コンサートで披露した。谷川氏の人と業績を振り返り、文化的追悼と未来への希望を込めた舞台として企画した。



キヤノン株式会社

ジュニア フォトグラファーズ
全国各地

自然をテーマとした写真撮影の体験を通じて、子どもたちの環境意識を高めるとともに、豊かな感性を育む写真プロジェクト。グループ社員やプロの写真家が講師となり、小学校の授業における環境教育プログラム、小学生向けのワークショップなどの一環として写真教室（デジタルカメラ教室、撮影会、作品発表会）を全国で開催している。



公益財団法人 常陽藝文センター

郷土文化情報誌『常陽藝文』の
発行と関連企画の推進

茨城県

財団事業開始の1983年より毎月発行し、2025年1月号で通巻500号を数える。郷土の芸術・歴史・風物等の文化を発掘・紹介するほか、近年では本誌テーマに関連した見学ツアーの開催や企画展示にも力を入れる。第一線の研究者や公的機関の学芸員等と協力し、地域の人々が読むだけでなく、見て触れることで豊かな郷土を再発見する機会を提供している。



油機エンジニアリング 株式会社

旧西原邸の動態保存と
若手アーティスト発表の場

福岡県

福岡県糸島市に所在する明治期の豪商の町家であった「旧西原邸」を修復・保存し、歴史的建造物として一般公開している。企画展や講演会、寄席などを開催し、建築および地域の歴史・文化について情報発信を行うほか、若手アーティストの表現・成長の場としても機能する。建物の魅力も引き出す展示により、日本の文化を次世代へ継承している。



ミサワホーム株式会社

CHALLENGED DESIGN project
東京都／全国各地

障がいを持つ子どもたちがアートを通じて「ものづくり」と「共創」の楽しさに触れる機会、また地域の交流の場を創出することを目的に、同社開発事業地近隣の学校や企業と協力して子どもたちを中心としたワークショップを開催。そこで描かれた絵画をデザイナーと協業してアート作品を製作し、事業地仮囲いフェンスへの掲示や施設内装に活用している。

2025年認定件数 198 件



戸田建設株式会社

ART POWER KYOBASHI
東京都

2024年に東京・京橋に新社屋「TODA BUILDING」を開業したのを契機に、同ビルを拠点に様々なアートプログラムを展開。パブリックアートの展示やラーニングプログラム、公募展などを通して、創作・交流、発表・発信、評価・販売のサイクルを生成する「アートによるエコシステムの構築」を目標に掲げ、エリアの文化価値醸成を図る。



株式会社 CBCテレビ

「第21回CBCこども絵画展」等を通じた
次世代アーティストの育成・支援活動

岐阜県／愛知県／三重県

東海3県の全小学生を対象に「こども絵画展」を実施。毎年2,000点ほどの応募作品を審査する他、全作品を展示している。また、愛知県内の芸術系大学・大学院で学内選抜された作品を募集し審査する「二十歳の記憶展」では、グランプリに賞金とグランプリ展開催の権利を授与する他、二十歳の記憶展出身者による新鋭作家展（松坂屋画廊にて展示・販売）を開くなど、実践的な場を提供している。



ハナマルキ株式会社

ハナマルキみそ作り体験館
長野県

創業100周年記念として、本社のある長野県伊那市に開設。本格的なみそ作り体験をはじめ、みそについての基礎知識の学習や隣接する伊那工場の見学ができる。また、親子みそ作り教室や地域の学校の社会科見学などの受け入れ、県外への出張ワークショップなども実施。1300年の歴史を持つ「発酵・長寿」に関わる食文化の魅力を発信している。



ヤマハ株式会社

沖縄三線文化継承プロジェクト
—技術貢献と共創—

東京都／静岡県／沖縄県

2023年より沖縄県三線製作事業協同組合、琉球大学、沖縄県立芸術大学、沖縄県立博物館・美術館との共創型研究プロジェクトに参画。材の枯渇・職人の後継者不足など三線をとりまく様々な社会課題に対し、総合楽器メーカーとして培った技術や知見を活用するとともに、研究成果の社会実装を通して、文化と社会の持続的な発展を目指している。



一般財団法人 神山財団

全国の芸術分野の大学院へ通う次世代の
才能溢れる人材への奨学支援事業

東京都／全国各地

絵画を専攻する全国の大学院生を対象に、「給付型奨学金の支給（最長2年間で60万円）」「財団主催の作品展へ出展する資格の付与」「奨学生同士によるグループ展開催の補助」「作家活動に関する勉強の機会や、奨学生との交流の場の提供」など多角的に事業を展開。2014年に開始し累計260人を支援するほか、卒業後も継続的にサポートしている。

これまでの認定件数 1,876 件